

4-1-6-7 泌尿器科

1. 概要

1.1 施設認定

泌尿器科学会認定施設責任者	上岡克彦
泌尿器科学会指導医・専門医	上岡克彦 青木勝也
泌尿器科学会専門医	久松英治

2. 診療活動

平成 17 年 4 月 1 日から久松英治医師が研修医として診療に参加した。

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までに行われた手術は 369 件、前年度より 6%増加した。手術数の増加は鈍化してきている。予定手術の患者要因によるキャンセルが 16%あったこと、手術室のキャパシティーが限界に近づいていることが原因と考えている。手術待機患者数は 100 名前後で推移している。

尿路系手術は尿道狭窄に対する手術を筆頭として増加が認められている。尿路再建術については例数は減少したが、再建内容はより複雑化している。

性器系の手術は尿道下裂、停留精巣とも増加してきた。半陰陽関連も増加してきた。本年は成人期の膣再造設（形成）が多くあり、今後増加してくる可能性が高い。

以下に主な手術症例数を掲げておく。手術数をカウントした（例：両側精巣固定術は 2 として など）

性器系手術数

精巣固定術	93
尿道下裂修復術	80
陰嚢水腫	24
陰茎形成術（翼状陰茎）	7
女性化外陰部形成術	6
半陰陽関連手術	6
精巣摘出術	6
膣造設（成人再手術）	4
精巣捻転	2

尿路系

尿道狭窄	74
VUR	18
水腎症	16
尿管尿管吻合	6
腎摘出術	4
膀胱拡大術	3
禁制尿路変更	2
外傷性尿道狭窄尿道形成	2
後部尿道弁	2
巨大尿管	1
中部尿管狭窄	1